聞いたことある？ 知ってる？
SDGs（Sustainable Development Goals）

- 途上国も先進国も抱える課題は共通
- 「世界を変えるための17の目標」で解決めざす
- くらしを変えて世界を変えよう

今月のキーワード

SDGs
（エスディージーズ）

漫画／小犬丸伸子

パルシステムが受賞した「ジャパンSDGsアワード」。SDGsって何？

世界を変えるためのSDGs

貧困、気候変動、平和と平等…世界が抱えるさまざまな社会問題は、先進国、途上国の別なく共通です。SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年、すべての国連加盟国が合意して採択した、世界を変えるための17の目標（ゴール）です。2030年までにすべての国が貧困と飢餓に終止符を打ち、豊かさをみんなで分かちあいながら、地球を守ることを呼びかけています。

くらしとつながるSDGs

17の目標は一見バラバラに思えます。しかし、複雑にからみあう世界の問題を解決するためには、同時に取り組むことが必要になってきます。

たとえば不当に安い輸入品の背景には、途上国の環境汚染や過酷な労働があります。そして日本では国産品が売れなくなり、生産現場の疲弊につながっています。

途上国の人々が、経済的にも環境面でも安定したくらしを送れる（【目標10】人や国の不平等をなくそう【目標13】気候変動に具体的な対策を）ようになれば、先進国でも安定したくらしを追求できる（【目標3】すべての人に健康と福祉を【目標8】働きがいも経済成長も）ようになります。

あなたのSDGsが世界を変える

このようにみると、私たちのくらし方や商品選びが、いかに世界の未来に関わっているかがよくわかります。

今回のパルシステムの受賞では、パルシステムの運営に女性組合員が主体的に参画していることも、高く評価されました。世界のさまざまな問題がくらしにつながることをみんなが知り、日々の行動を見直していけば、解決が難しい世界の問題を少しずつよい方向に向けることができるはずです。

あなたもSDGs、意識してみませんか。

パルシステムが第1回「ジャパンSDGsアワード」推進副本部長（官房長官）賞を受賞

「ジャパンSDGsアワード」は、SDGs達成に向けて、優れた取り組みを行う企業・団体等を表彰する制度です。パルシステムの受賞は「ほんもの実感!くらしづくりアクション」などの取り組みが、「地域、環境、生産者、女性と結びつき、SDGsが目標に掲げる貧困や環境などの課題解決につなげ、統合的に取り組んでいる」と評価されたものです。

野々山理事長は「SDGsの目標はどれも、私たちにはなじみ深いものばかり。組合員や生産者、メーカー、市民団体など、多くの方々とつながって実現してきた取り組みです。これからも世界につなげるという意識をもって、進めていきたいですね」と話します。

菅内閣官房長官から賞状を授与される、石田パルシステム連合会理事長（左）

右から、野々山パルシステム東京理事長 石田パルシステム連合会理事長 吉中パルシステム神奈川ゆめコープ理事長

できることはたくさんある！ 世界を変えるわたしのSDGs ほかにも関連する目標はいろいろ！ 探してみてネ

16 平和と公正をすべての人に

災害からの復興支援活動や平和カンパなどの募金に協力する

2 飢餓をゼロに

まだ食べられる食品を捨てない。フードバンクなどへの協力も

1 貧困をなくそう

国際産直品を利用して、途上国の経済的自立を支える

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

パルシステムでんきに切り替え、再エネ発電を応援！

12 つくる責任つかう責任

効率優先ではない、人や環境に配慮した商品を利用する

13 気候変動に具体的な対策を

リユース・リサイクル品を利用して、エネルギー、CO_2を減らす

取材協力：国際連合広報センター 詳細はホームページで
取材は2018年3月16日現在

インフォメーション

1/25 第10回定例理事会開催

(1)第26回通常総代会の日時・場所の決定及び総代会の議案予定項目決定の件

第26回通常総代会を、2018年6月12日（火）10時より京王プラザホテルで開催（予定）することを議決しました。あわせて議案予定項目を決定しました。なお、総代会議での討議を踏まえ、上程議案の最終決定は2018年5月16日（水）開催予定の臨時理事会となります。

(2)2018年第2回総代会議招集及び「第26回通常総代会議案第一次案」決定の件

2018年6月12日に開催される第26回通常総代会の議案第一次案を決定するとともに、その議案について総代と論議するための「第2回総代会議」の開催を議決しました。

(3)2018年度機関運営日程承認の件

2018年度の総代会、総代会議、理事会など、会議日程を議決しました。

(4)定時職員就業規則及び福祉定時職員就業規則並びに人事規則改定の件

定時職員の定年を60歳から65歳に延長し、あわせて定時職員及び福祉定時職員を一定の条件のもと有期契約から無期契約に転換します。今回の改定に伴い人事規則の定義の修正もあわせて行ないます。

(5)2018年度パルシステム東京震災復興支援基金 助成限度額決定の件

「生活協同組合パルシステム東京震災復興支援基金」（以下、「パル未来花基金」）の2018年度の助成限度額を、規則に基づき400万円（2017年度同様）とすることを議決しました。

(6)「生活協同組合パルシステム東京の食育政策」改定（案）承認の件

2009年3月に制定されて以降8年が経過し、食にまつわる課題や暮らし方も変化しています。それらに合わせて、今後の食育政策を実現するために行動計画を見直す趣旨で改定案を議決しました。今後、改定案を組合員が集まる会議（食育リーダーやPLA定例会及び第2回総代会議等）で意見交換を行ない、2018年3月の理事会で最終確定する予定です。

2/13～20 第2回総代会議を開催しました

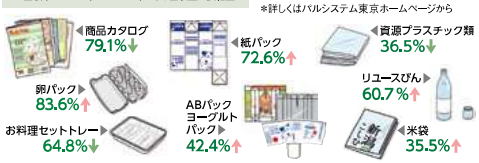
6月12日の総代会で議決する議案を、理事会と総代が討議する「第2回総代会議」が、5会場で6回、開催されました。

理事会から、2017年度の事業と活動の進捗状況説明と18年度に取り組むべき課題の提案があり、活発な意見交換がありました。

2月中旬の降雪対応についての報告とお詫びもありました。一方、総代からは次年度方針についての多様な意見が寄せられました（2月19日開催の新宿本部会場にて）

パルシステム東京 1月 data 総事業高 56億1,802万円

組合員数：48万272人　予算比97.9%　予算未達成

リユース・リサイクル回収率
※回収率は2017年4～2018年1月の回収量／供給量

はじめませんか エコライフ！ pal-system エコライフチェック
※詳しくはパルシステム東京ホームページから